

魅力ある学校づくりと連動した「愛媛県県立学校振興計画策定の指針」の概要

1 県立学校振興計画策定の背景(P1)

環境の変化

- ・生徒数減少
- ・情報化
- ・グローバル化



県立学校等の役割

- ・人材の育成拠点
- ・地域活性化の核



計画策定が必要

よりよい
教育環境の実現



2 計画の期間(P1)

令和5年度～令和14年度（10年間）



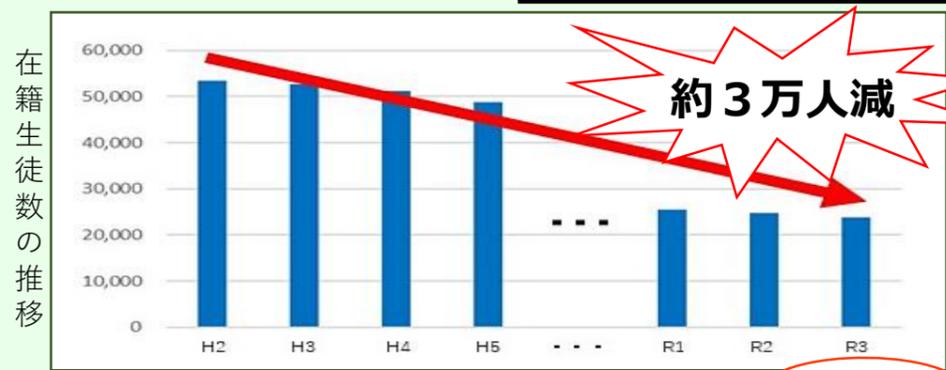
計画策定後は、統合等のまとめごとに準備委員会を立ち上げ、具体的な準備を推進（P5）

3 県立高校等を取り巻く課題(P1・2)

(1) 生徒数の減少と学校の小規模化

○県立高校等の在籍生徒数

平成2年度：約5万3千人 → 令和3年度：約2万4千人



約3万人減

○県立高校等の学校数

平成2年度：57校 → 令和3年度：55校

2校減

○1校1学年当たりの平均学級数

平成2年度：7.4学級

約4割減少

令和3年度：4.3学級

- ・多様な科目の開設や、部活動の実施が困難
- ・地域外の規模の大きな学校への進学が増加

各地域に一定規模以上の学校設置が必要

(2) 社会の変化と生徒の多様化

- 産業構造・就業構造の変化
- 地域と連携した人材育成
- 高校等進学率が高い状況下での生徒の多様化
- 多彩な学びの形態を提供できる体制づくり
- 定時制の在り方の検討



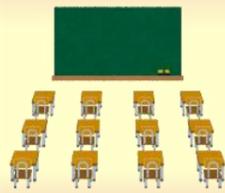
一人一人を最適の形で指導できる体制づくりが必要

4 計画の内容(P2～5)

(1) 再編整備基準等

適正規模 3～8学級

※3学級を下回る学校は、原則、募集停止



地域への配慮

※県立高校等の地域活性化の核としての役割が高まってきたことを踏まえ、次に該当する学校は、3学級を下回っても、各市町1校に限り、「魅力化推進校(仮称)」として存続することが可能

○市町に唯一の学校 ○鳥しょ部の学校 など

新チャレンジシステム

3学級以上の学校	魅力化推進校
3年連続80人以下	3年連続30人以下
魅力化推進校に該当しない場合 募集停止	魅力化推進校に該当する場合 規模を縮小し魅力化推進校として存続
	募集停止

※弓削高校及び松山北中島分校については、離島の特例措置を適用（募集停止基準3年連続20人未満）



(2) 学校魅力化の在り方等

職業系学科の魅力化

「産業科学高校(仮称)」の設置

地域経済の振興に資する産業人材の育成



定時制課程・通信制課程

- ・昼間二部定時制と通信制の課程を併置し、小規模校等への授業配信拠点としての機能を持たせた県立高校の設置

進学指導の強化

「進学指導強化モデル校(仮称)」の設置

高い進学目標を持った生徒が地域で学ぶことができる体制の構築



総合学科の拡充

- ・地域のニーズや生徒の実態を踏まえた系列の設置
- ・より一層充実した進学指導

